

### 特集(新型コロナウイルス感染症に関連する人権)

## 新型コロナウイルスで心まで傷つけないで



### 「誰かのことじゃない」～コロナ禍での差別の実態～

医療従事者やその家族、社会生活の維持に欠かせない業務に携わる人々への差別の事例が全国で多く発生しています。また、感染者や濃厚接触者を過剰に避ける、非難する、といった差別や偏見も生まれています。他にも特定の症状というだけで感染者と決めつけてしまう、あるいは感染者と同じ大学や同じ地域の居住者にも、差別や偏見のまなざしを向ける、といった事例が発生しています。さらには、このような方々に対するインターネット上の不適切な書き込みによる被害が深刻化しています。

感染の事実がない方であっても不当な扱いを受ける事例が発生しており、誰もが当事者の立場になって考える必要があります。

### もし自分ならどう思うか…、想像してみましょう!

#### 感染した人やその家族、外国人などを責めないで

感染した人やその家族の名前や住所を特定しようとしてはいけません。また、差別や偏見、いじめがあってはけません。偏見にとらわれず、思いやりのある行動をしましょう。

#### ワクチン接種は本人の判断、差別や嫌がらせはやめましょう

ワクチン接種は本人の意思に基づくものであり、健康状態やメリット・デメリット等様々な事情を考え、自らが判断するものです。周りの人に接種を強制することや、接種を受けていない人に対し、差別的な態度をとることのないようにしましょう。

### 不確かな情報に惑わされず、思いやりのある行動を!

#### 誰もが不安の中で生きていることを忘れないで

仕事に不安のある人たち、感染することを恐れている人たち、家族を心配する人たち…。誰もが何かを不安に思っていることを忘れないでください。

#### ありがとうの気持ちとエールを送ろう

社会を支えるすべての人たちに感謝と敬意を送れないようにしましょう。思いやりの気持ちを持って、お互いに助け合い、コロナ禍を乗り越えましょう。

### 第4回「わたしからの人権メッセージ」特選作品の紹介

#### 障がい者の人権(小学校五年)

人権とは、人の権利(健康に生きてたくさん学び自由に活動し国から守られ助けられながら生きていく権利)であり、全ての人々が人間らしく生きる権利で生まれながらに持っている権利であって、誰にとっても大切なもの、日常の思いやりの気持ちによって守らなければならないものです。

例えば、「女だから」と言ったり、「子どもだから」と言ったりして、その人をばかにしたり、いじめをしたりする人がいます。女も子どももみんな同じ人間だから、これはまちがっている言葉だと思います。相手に気持ちを考えた時に、「子どもだから」「女だから」と言ってばかにしたりするのは良くない事です。

私には、障害のある弟がいます。話す事も立ったりする事も歩く事もできません。だから、お母さん、お父さん、私も手伝って色々な事をやっています。そうする事で、弟もよこんでくれるし、お母さん、お父さんもよこんでくれます。でも、私にとってはそれが当たり前な事なのですが、外を歩いていると、車イスに乗っている弟を見る人達は、弟の事をジロジロ見たり、小さい子が、「あの子大きいのにベビーカー乗っている」「歩けばいいのに」と言ったりしてきますが、どうして車イスに乗っている弟をジロジロ見るのか不思議でした。でも私には当たり前の事で、ふつうの事だと思っただけで、わからなかったら、私とお母さんに聞いてくれたらいいのと思いました。

最近になって思う事は、障害のある人をジロジロ見るけど、困っている時はなせ声をかけたりしないのか、声をかける事が勇気のいる事で、できない人がいるんだという事です。お母さんは、弟の車イスを押して電車に乗る時、いつも段が大変そうです。そんな時に、声をかけてくれる人がいると、「いつもありがとうございます」と、何回も言ってます。そして私もお母さんも「いい人やな」「良かった」と笑っています。だから、私も障害のある人が、生活していきやすいように、思いやり、助けてあげる気持ちが当たり前になるように、声をかけていたり、困っている人がいたら、手伝ってあげられたらいいなと思います。



作品集には、応募された2,550点の作品のうち、御本人の許諾を得られた特選作品を掲載しています。

作品集ホームページ

<https://www.jinkenkyo.jp/past-message/>

